

2019年度モニタリング環境調査分析機関報告データ

底質

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(pg/g-dry)
 地方公共団体:和歌山県
 調査地点:紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	13,000	※3.3	※8.5
[1-1] モノクロロビフェニル類	370	0.4	1.1
[1-2] ジクロロビフェニル類	4,300	0.2	0.6
[1-3] トリクロロビフェニル類	1,700	0.3	0.7
[1-4] テトラクロロビフェニル類	2,600	0.2	0.5
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	310	0.2	0.5
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (#81)	6.4	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	1,800	0.2	0.5
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	160	0.2	0.5
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#114)	8.5	0.2	0.5
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#118)	350	0.2	0.5
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#123)	6.5	0.2	0.5
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#126)	4.0	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	1,300	0.4	1.1
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#156)	44	0.4	1.1
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	9.9	0.4	1.1
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	17	0.4	1.1
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	2.3	0.4	1.1
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	370	0.3	0.8
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (#170)	53	0.3	0.8
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	120	0.3	0.8
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	2.2	0.3	0.8
[1-8] オクタクロロビフェニル類	60	0.4	1.0
[1-9] ノナクロロビフェニル類	14	0.2	0.5
[1-10] デカクロロビフェニル	16	0.7	1.7
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	220	0.4	0.9
[11] HCH類	620	※1.5	※3.8
[11-1] α-HCH	200	0.4	1.1
[11-2] β-HCH	260	0.5	1.2
[11-3] γ-HCH (別名:リンデン)	78	0.4	1.0
[11-4] δ-HCH	84	0.2	0.5
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	59,000	※13	※30
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	14	2	5
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	11	2	5
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	10	1	3
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	6	1	3
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	8	2	4
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	tr(3)	2	4
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	tr(3)	2	4
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	11	3	6
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183)	6	3	6
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	95	1	3
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	3,300	2	5
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	56,000	2	4
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	39	4	9
[16] ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	22	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	51	0.4	0.9

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(pg/g-dry)
 地方公共団体:和歌山県
 調査地点:紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[20] 総ポリ塩化ナフタレン	1,300	※2.7	※7.3
[20-1] モノ塩化ナフタレン類	31	0.9	2.3
[20-2] ジ塩化ナフタレン類	81	0.6	1.5
[20-3] トリ塩化ナフタレン類	280	0.2	0.5
[20-4] テトラ塩化ナフタレン類	640	0.2	0.5
[20-5] ペンタ塩化ナフタレン類	250	0.2	0.6
[20-6] ヘキサ塩化ナフタレン類	39	0.3	0.9
[20-7] ヘプタ塩化ナフタレン類	4.3	0.1	0.4
[20-8] オクタ塩化ナフタレン	0.8	0.2	0.6
[22] ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類	1,200	※3	※8
[22-1] ペンタクロロフェノール	1,100	2	6
[22-2] ペンタクロロアニソール	110	0.8	2.1
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※4,000	※8,000
[23-1] 塩素化デカン類	nd	1,000	2,000
[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd	1,000	2,000
[23-3] 塩素化ドデカン類	nd	1,000	2,000
[23-4] 塩素化トリデカン類	nd	1,000	2,000
[24] ジコホル	47	2	4
[25] ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	nd	5	13

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※:定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。